

品種：夢つくし・元気つくし  
ヒノヒカリF基準

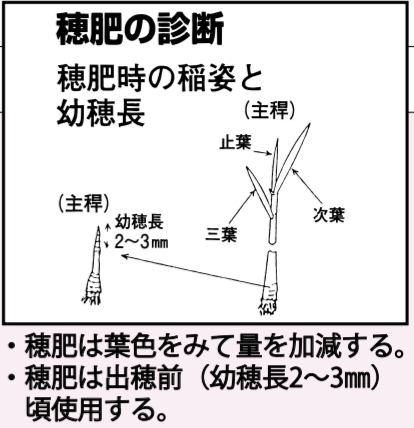


特裁米こよみ(県認証米・F基準)

特裁米の条件

※こよみに記載している肥料・農薬以外は使用できません。  
※こよみ以外の肥料・農薬を使用した場合は必ず報告して下さい。(県認証より除外します。)

月	5			6			7			8			9			10			
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
夢つくし	生育期間	は種	育苗	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期							
	水管理			浅水	間断灌水	中干し	間断灌水	浅水	間断灌水	落水									
元気つくし	生育期間	は種	育苗	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期							
	水管理			浅水	間断灌水	中干し	間断灌水	浅水	間断灌水	落水									
ヒノヒカリF基準	生育期間	は種	育苗	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	出穂期	穂揃期	登熟期間	成熟期							
	水管理			浅水	間断灌水	中干し	間断灌水	浅水	間断灌水	落水									



収穫早限  
黄褐色率70%  
初水分28%  
収穫晚限  
黄褐色率80%  
初水分24%

適期収穫に努めましょう。



イネカメムシ対策  
イネカメムシの特徴は出穂期後の幼い籾の基部を吸汁し不稔粉発生の要因となります。その為、対策としては出穂前に1回、出穂後7~10日に1回の2回防除が必要となります。

○箱施薬① 次のいずれか1つを選択

名称	使用量	使用時期	対象病虫害
防人箱粒剤	1箱あたり 50g	播種時 (覆土前) ↓ 移植当日	いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドクオイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ
フルスロトル箱粒剤 ※紋枯病に効果あり			いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドクオイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、紋枯病
ブーンゼクテラ箱粒剤			いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネドクオイムシ、ニカメイチュウ、コブノメイガ

※育苗センターの苗(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリ)は箱施薬(防人箱粒剤)入りです。  
田植前に箱施薬を散布する必要はありません。

○除草剤使用基準② 次のいずれか1つを散布

種類	名称	10aあたり使用量	使用時期
粒剤 (※田植同時処理可)	キマリテ1キロ粒剤	1kg	田植時~10日(ノビエ3.0葉期まで)
	プライオリティ1キロ粒剤		田植時~12日(ノビエ3.5葉期まで)
	ビクトリーZ1キロ粒剤		田植時~10日(ノビエ3.0葉期まで)
フロアブル (※田植同時処理可)	キマリテフロアブル	500ml	田植時~10日(ノビエ3.0葉期まで)
	プライオリティフロアブル		田植時~12日(ノビエ3.5葉期まで)
ジャンボ (※田植同時処理不可)	ビクトリーZフロアブル	10パック	田植後5日~10日(ノビエ3.0葉期まで)
	キマリテジャンボ		田植直後~10日(ノビエ3.0葉期まで)
	プライオリティジャンボ		田植直後~12日(ノビエ3.5葉期まで)
	ビクトリーZジャンボ		田植後5日~10日(ノビエ3.0葉期まで)

※除草剤処理後1週間は田面が露出しないようにすると効果が安定する。

○穂いもち病防除③ 次のいずれか1つを散布

名称	10aあたり使用量	使用時期
いもち病 紋枯病対策	ダブルカットバリダフロアブル 希釈倍率1000倍 散布液量60~200ℓ	穂揃期まで
いもち病 対策	ビームゾル 希釈倍率1000倍 散布液量100~150ℓ	収穫7日前まで
	ビーム粉剤DL	3~4kg
	ゴウケツ1キロ粒剤	1kg
	ゴウケツパック	10パック

※穂いもち病防除時期：「ゴウケツは、穂ばらみ期(出穂5日前)まで」「液剤・粉剤は出穂直前」に散布する事が重要です。

○ウンカ・カメムシ防除④ 次のいずれか1つを散布。但し、条件を満たしている場合のみ、2つまで散布可

名称	10aあたり使用量	使用時期	対象病虫害
エクシード粉剤DL	3kg	収穫7日前まで	カメムシ類 ウンカ類
エクシードフロアブル	希釈倍率2000倍 散布液量60~150ℓ		
スタークル豆つぶ	250g		
ヘリ防除(エクシードフロアブル)	希釈倍率16倍 散布液量0.8ℓ		

○補正除草剤・防除 必要に応じて次のいずれか1~2つまで散布可  
箱施薬でフルスロトルを使用しウンカ・カメムシ対策を2回散布する予定の場合はクリンチャーバスとワイドショットは使用できません。

名称	10aあたり使用量	対象雑草	使用時期
※クリンチャーバスME液剤	1000ml/水70~100ℓ	ノビエ、広葉雑草	田植後15日~ノビエ5葉期但し収穫50日前まで
※ワイドショット1キロ粒剤	1kg	カヤツリグサ、ホタルイ	田植後15日~ノビエ4葉期但し収穫45日前まで
クリンチャーEW	100ml/水25~100ℓ	ノビエ	田植後20日~ノビエ6葉期但し収穫30日前まで
クリンチャー1キロ粒剤	1kg		田植後7日~ノビエ4葉期但し収穫30日前まで
バサグラン液剤(ナトリウム塩)	500~700ml/水70~100ℓ	広葉雑草、カヤツリグサ ホタルイ	田植後15日~55日但し収穫50日前まで
バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	3~4kg		田植後15日~55日但し収穫60日前まで

名称	10aあたり使用量	使用時期	
リンパー粒剤	3~4kg	収穫30日前まで	
バリダシン粉剤DL (使用しても化学合成農薬成分にカウントされません。)	3~4kg	収穫14日前まで	
モンセレンフロアブル	希釈倍率1500倍 散布液量100~150ℓ	収穫21日前まで	
ウンカ類 対策	トレボン粉剤DL	3~4kg	収穫7日前まで
	トレボン乳剤	希釈倍率1000~2000倍 散布液量60~150ℓ	収穫14日前まで
穂いもち 対策	穂いもち病対策の剤(ゴウケツ、ビーム)を使用		

○施肥基準

品種名	肥料名	基肥	穂肥	成分量 (kg/10a)		
				N	P	K
夢つくし	福岡嘉穂ユークン2号	35	-	7.0	2.65	4.15
	(フレーバーペースト)	(50)	-	(6.5)	(2.4)	(4.4)
元気つくし	福岡嘉穂ユークン3号	-	30			
	有機エムコート355 (基肥1回)※軽量化肥料	55 (1回のみ)	-	7.15	2.75	2.75

稲わらの全量還元・土壌改良資材の施用  
(10aあたり、ケイカル・ミネラルG・珪鉄のいずれかを160kg散布、または、とれ太郎を60kg散布)

[スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策]

(使用しても化学合成農薬成分にカウントされません。)

名称	10aあたり使用量	使用方法	備考
スクミンバイト3	2~4kg	湛水散布	浅水にして、水口、深いところ等タニシの集まる所にスポット処理も有効

その他対策：生貝の捕殺、卵塊の圧殺、取水口への網設置、浅水管理、厳冬期の耕起等  
肥料・農薬の注文は予約購入で経済効果を上げましょう。  
農薬は、散布前に必ず農薬ラベルを確認し、散布時には、天候に注意し、他の作物にかからないように散布しましょう。  
この栽培層はJA米の生産基準を兼ねています。  
要件を満たさない米穀は区分してJAに出荷しましょう。

肥料・農薬・生産資材の購入はJAから!! 生産履歴は必ず記載しましょう。